

大信の近況ご報告

平成20年9月

都内にひろがる店舗・サービス網



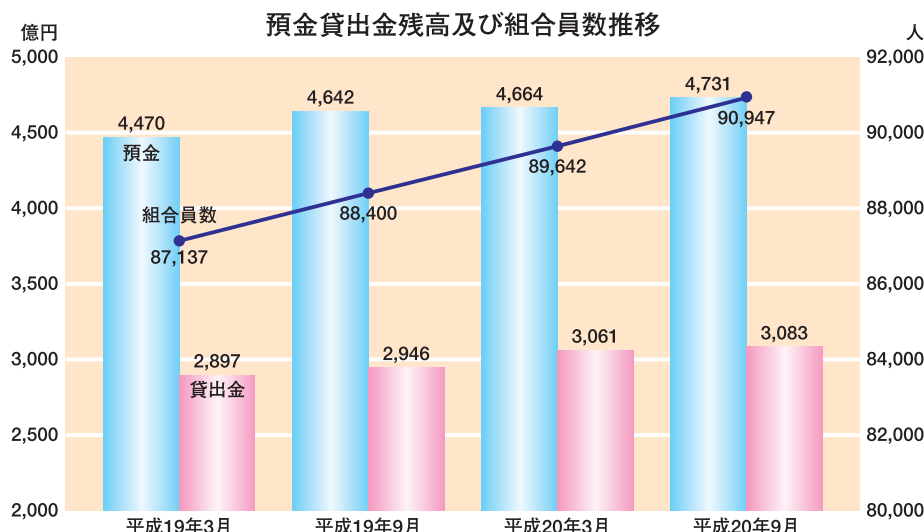
(本資料に掲載されている9月末の計数につきましては、仮決算のため監査法人の法定監査を受けたものではありません。)

心・ふれあい
大東京信用組合

ホームページアドレス (URL) <http://www.daisin.co.jp/>

平成20年9月期の業績

預金・貸出金、組合員数は順調に増加しました

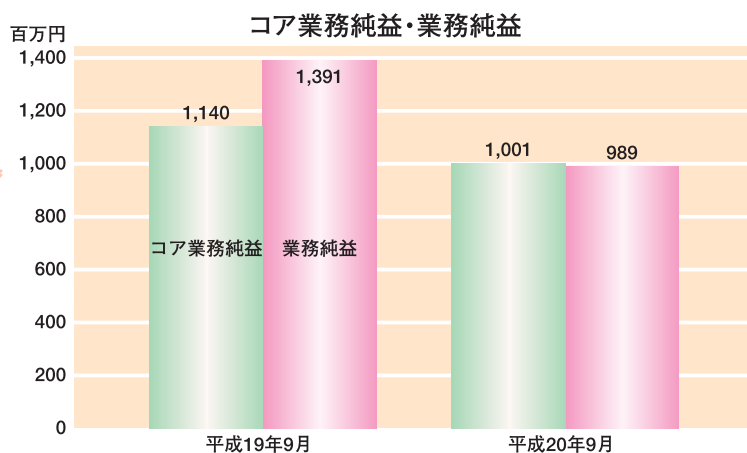


業容は順調に伸展し、預金残高は前年同期比89億円(1.9%)増加し、4,731億円となりました。一方、貸出金は国内景気の先行き不透明感が強まり、資金需要が一段と冷え込む環境のなか、地元への資金還元をモットーに、地域金融機関としての独自性と機能発揮に特化した積極推進に努めた結果、前年同期比136億円(4.6%)増加し、3,083億円となりました。また、組合員数は前年同期比2,547名増加し、個人・法人総数で90,947名となり、普通出資金は前年同期比8億87百万円増加し、85億66百万円となりました。

(注) 貸出金は平成18年3月期から部分償却を実施しており、償却後の残高となっております。

コア業務純益は堅調に10億1百万円を確保しました

収益は、前期に引き続き本業であります預貸金業務に特化した積極的事業運営と経費の抑制等を中心に経営の効率化に取り組みました結果、本業による利益を示すコア業務純益はほぼ前年並みの10億1百万円を確保いたしました。景気後退局面入りの影響もあって業務純益は9億89百万円、経常利益は3億84百万円、当期純利益は3億19百万円となりました。



不良債権比率は4.50%の低水準を維持しております

(単位:百万円,%)

区分	金融再生法で定められた債権の状況							
	平成20年3月末				平成20年9月末			
	債権額	保全額	保全率	構成比	債権額	保全額	保全率	構成比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,184	4,184	100.00	1.4	5,161	5,161	100.00	1.7
危険債権	5,719	5,256	91.90	1.9	7,777	7,100	91.29	2.5
要管理債権	586	413	70.47	0.2	1,058	899	84.97	0.3
不良債権計	10,491	9,854	93.92	3.4	13,996	13,160	94.02	4.5
正常債権	297,875	—	—	96.6	296,415	—	—	95.5
合計(総与信)	308,366	—	—	100.0	310,411	—	—	100.0

なお、部分償却は平成18年3月期より実施しており、その額は平成20年3月期6,662百万円、平成20年9月期7,091百万円です。

(注1) 単位未満を切り捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中合計額とは一致しないことがあります。

(注2) 総与信とは貸出金と貸出金以外の債権(貸付有価証券、外国為替、未収利息、仮払金および債務保証見返)を含んだ合計額です。

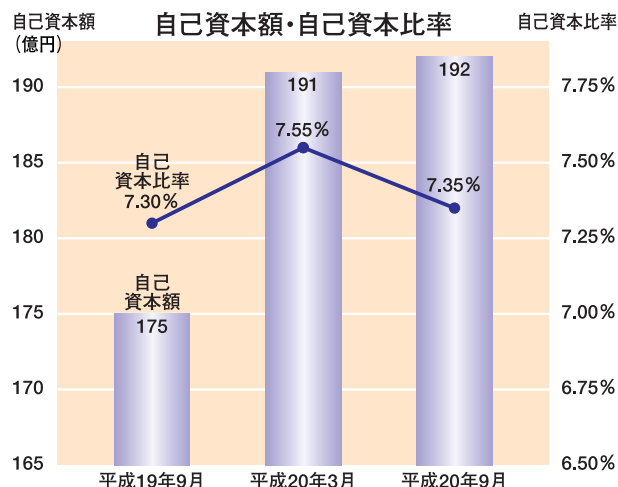
自己資本額は順調に増加、自己資本比率は7.35%に

(単位:百万円)

自己資本比率			
項目	平成19年9月末	平成20年3月末	平成20年9月末
自己資本比率	7.30%	7.55%	7.35%
自己資本額	17,589	19,154	19,271
基本的項目	15,744	16,894	16,954
補完的項目	1,855	2,269	2,325
控除項目	10	9	8
リスク・アセット	240,824	253,675	261,912

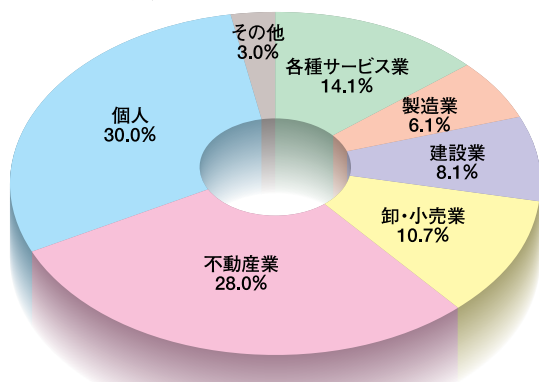
$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額}(19,271)}{\text{リスク・アセット}(261,912)} \times 100 = 7.35\%$$

※リスク・アセットとは、資産の各項目にそれぞれのリスクウェイト(信用リスクの度合い)を乗じて得た額の合計額です。



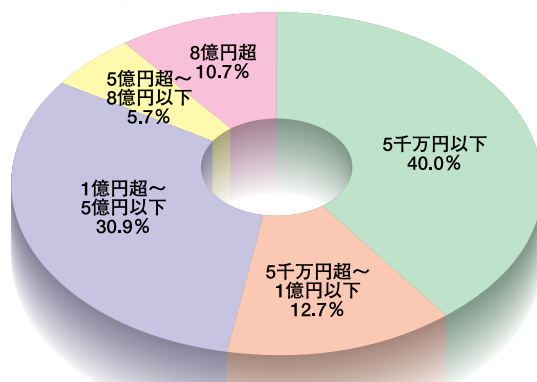
貸出は小口多数で各業種に分散されリスクに強い取引基盤を確立しております

貸出金業種別残高構成比



大信は、地元でお預りした預金は地元へ還元することを基本姿勢として、地域の皆様の資金ニーズに積極的にお応えすることで地域の振興発展のためにお役に立つことを基本的な使命としております。

貸出金金額段階別残高構成比



大信の貸出金は1億円以下が52.7%(うち5千万円以下が40.0%)と小口の貸出が過半を占めており、リスク分散を図りながら堅固な取引基盤を確立しております。特定先への貸出金の集中や法令違反となるような大口の貸出は一切ありません。

有価証券運用は安全性を重視しております

(単位:千円)

有価証券の取得原価、時価、貸借対照表価額及び評価損益						
項目		取得原価	時 価	貸借対照表価額	評価損益	
有 価 証 券	売買目的有価証券	平成19年9月末	—	—	—	
		平成20年3月末	—	—	—	
		平成20年9月末	—	—	—	
	満期保有目的の債券	平成19年9月末	39,878,488	39,731,021	39,878,488	▲147,466
		平成20年3月末	20,481,144	20,454,276	20,481,144	▲26,867
		平成20年9月末	22,681,117	22,630,433	22,681,117	▲50,684
	その他有価証券	平成19年9月末	2,251,915	2,768,149	2,768,149	516,233
		平成20年3月末	1,965,211	1,955,862	1,955,862	▲9,348
		平成20年9月末	1,454,364	1,390,386	1,390,386	▲63,977
	計	平成19年9月末	42,130,403	42,499,170	42,646,637	368,767
		平成20年3月末	22,446,355	22,410,138	22,437,006	▲36,216
		平成20年9月末	24,135,482	24,020,820	24,071,504	▲114,662

(注)1.「その他有価証券」の評価方法は時価法を採用しております。「その他有価証券」については、時価評価に換算した上で貸借対照表価額としておりますので、評価損益は取得原価と貸借対照表価額の差額を計上しております。

2.本表に掲げる取得原価は、償却原価から減損処理額(該当額が発生した場合)を控除した後の残高を計上しております。

平成20年9月期 仮決算状況

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部				負債及び純資産勘定の部			
科 目	平成20年9月	平成19年9月	平成20年3月	科 目	平成20年9月	平成19年9月	平成20年3月
(資産の部)				(負債の部)			
現金	6,527,035	5,760,689	11,248,166	預金積金	473,136,123	464,230,467	466,465,059
預け金	142,264,642	128,613,477	134,429,850	借入金	1,540,000	1,540,000	1,540,000
買入金銭債権	12,115	14,750	13,250	その他負債	2,411,628	3,619,121	2,327,732
有価証券	24,071,504	42,646,637	22,437,006	退職給付引当金	1,175,356	1,233,802	1,230,307
貸出金	308,308,272	294,633,840	306,144,788	役員退職慰労引当金	186,014	210,448	230,065
その他資産	3,736,041	3,873,338	3,735,025	睡眠預金払戻損失引当金	3,882	—	3,882
有形固定資産	10,284,792	10,019,808	10,328,661	偶発損失引当金	5,613	—	1,004
無形固定資産	1,722,035	1,725,111	1,723,354	再評価に係る繰延税金負債	160,664	160,664	160,664
繰延税金資産	1,415,813	1,204,280	1,317,548	債務保証	1,800,777	2,117,677	1,909,674
債務保証見返	1,800,777	2,117,677	1,909,674	負債の部合計	480,420,061	473,112,183	473,868,391
貸倒引当金	▲1,915,095	▲859,213	▲1,878,062	(純資産の部)			
(うち個別貸倒引当金)	(▲1,160,484)	(▲654,953)	(▲1,219,062)	普通出資金	8,566,311	7,679,032	8,287,086
				優先出資金	1,050,000	1,050,000	1,050,000
				その他の出資金	500,000	—	500,000
				資本剰余金	1,050,000	1,050,000	1,050,000
				利益剰余金	6,333,033	6,152,103	6,307,731
				組合員勘定合計	17,499,344	15,931,135	17,194,817
				評価・換算差額等合計	308,530	707,078	346,055
				純資産の部合計	17,807,875	16,638,213	17,540,873
資産の部合計	498,227,936	489,750,397	491,409,264	負債及び純資産の部合計	498,227,936	489,750,397	491,409,264

(注1) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 部分償却は平成20年9月期7,091百万円、平成19年9月期5,624百万円、平成20年3月期は6,662百万円となっております。

(注3) その他の出資金500,000千円は平成19年12月10日に行った旧東京建設信用組合との合併により承継した優先出資金を、平成20年3月28日に協同組織金融機関の優先出資に関する法律第15条第1項第1号の規定に基づき消却した事により、優先出資金からその他の出資金に振り替えたものであります。

損益計算書

(単位:千円)

科 目	平成20年9月	平成19年9月	平成20年3月	科 目	平成20年9月	平成19年9月	平成20年3月
経常収益	5,832,691	5,932,169	11,794,214	特別利益	1,970	1,839	3,201,088
資金運用収益	5,531,434	5,393,960	10,890,076	特別損失	26,439	—	3,247,729
貸出金利息	4,784,327	4,709,882	9,532,540	税引前当期純利益	360,086	1,094,910	1,840,837
預け金利息	557,572	466,125	1,032,831	法人税・住民税及び事業税	121,616	10,000	49,006
有価証券利息配当金	117,673	151,095	257,813	法人税等調整額	▲81,161	170,982	222,274
その他の受入利息	71,860	66,857	66,890	当期純利益	319,631	913,928	1,569,556
役員取引等収益	214,905	237,530	462,695	前期繰越金	432,401	460,174	460,174
その他業務収益	86,345	227,645	310,707	自己優先出資消却額	—	—	500,000
国債等債券売却益	83,495	219,782	290,419	当期末処分剰余金	752,033	1,374,103	1,529,731
その他の業務収益	2,850	7,862	20,288				
その他経常収益	6	73,032	130,735				
経常費用	5,448,136	4,839,098	9,906,736				
資金調達費用	882,313	684,709	1,507,036				
預金積金利息	868,393	664,935	1,467,534				
借入金利息その他	13,920	19,774	39,502				
役員取引等費用	150,930	159,009	314,287				
その他業務費用	238	144	2,331				
経費	3,925,086	3,860,069	7,740,772				
その他経常費用	489,567	135,165	342,308				
経常利益	384,554	1,093,071	1,887,478				

(注1) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

恒久的な「地域密着型金融」の取組状況(20年9月期)

当組合の基本方針

当組合は、地域密着型金融の本質を恒久的な取組みと捉え、諸施策の更なる充実を重点課題として、地域経済の活性化に貢献しお客様に評価していただけるよう弛まぬ努力を重ね、地域社会・取引先との共存共栄を目指し、地元に着いた存在意義のある信用組合を標榜しております。

これらの実現に向け、これまで以上に本業に特化することによる地域金融の円滑化に努める一方、リスク管理の向上やコンプライアンスの徹底を図ると共に、組織を支える源である人材の育成に取組み営業力を強化して地域のお客様への良質な金融サービスの提供を目指してまいります。

当組合の特徴

都内一円という広域の営業基盤を有しておりますが、内部的には「広域店周高密度主義」という理念で統一し、営業の基本に据えた「足で稼ぐ営業活動」を根幹に置いております。

推進のキーワード

足(フットワーク)に頭(ヘッドワーク)をプラスした地域金融機関としての心触れ合う(ハート・トゥ・ハート)大東京のネットワーク化



主な取組みの進捗状況

■ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

創業・新事業支援	創業・新事業支援については、外部機関との連携強化を図り創業・新事業支援に取組んでおります。	・融資実績：14件、118百万円
経営改善支援	取引先企業の早期経営改善を図るために外部専門家と連携し、経営改善支援に取組んでおります。また、取引先企業の健全債権化に向け本部所管部・営業店と連携してランクアップに努めております。	・経営改善取組み先：105先 ・経営改善支援取組み率：4.8% ・ランクアップ先数：2先 ・ランクアップ率：1.9%
事業再生	コンサルタント等外部専門家を活用して、経営不振に陥った先に対する持続可能性ある事業の再構築、過剰債務となっている中小企業の再生等に取組んでおります。	・事業再生目的融資実績：5件、3,764百万円 ・当初(16年3月)からの実績累計：182件、31,592百万円

■事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

企業の将来性、技術力を的確に評価できる「目利き機能」能力等を向上させるため、取引先とのコミュニケーション力を高める研修を実施しました。

・営業店の融資業務担当者向け本部研修を4回実施：延べ50名参加
・営業店舗への臨店研修を4回実施：延べ121名参加

■地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域の皆様のニーズにお応えするため、各地域での活動、経営情報の提供、セミナーの開催、店舗施設の開放等より良いサービスの提供ができるよう取組んでおります。主な取組みは下記のとおりです。

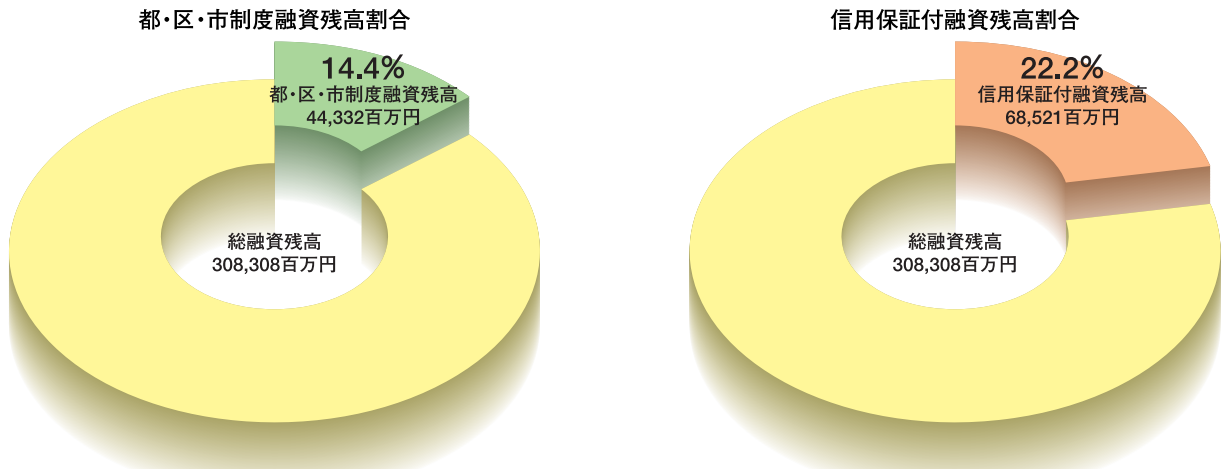
- 中小企業事業者セミナーの開催：上期1回開催、参加者96名(下期は4回開催予定)
 - ▶(独)中小企業基盤整備機構との連携による事業承継セミナー：「社長、事業承継対策は万全ですか?計画的な事業承継のすすめ」
 - ▶関東財務局東京財務事務所との連携による金融行政の取組み等に関するセミナー：「知ってナットク!中小企業の資金調達に役立つ金融検査の知識」など
- 経済産業省の「地域力連携拠点事業」への参画として、事業者が抱える経営課題解決のため、東京商工会議所の持つネットワークと相談機能の活用への案内を行っております。
- 情報提供機能の強化策として、上部団体が運営する「あのねット」に加入し、提案・相談型営業を推進しております。(経営診断、家計診断、ライフプラン、エコのシミュレーション及び生活関連コラム等)
- 金利情報、商品情報等を見やすくするために、店頭にて「表示ボード」を設置しました。
- チラシの設置とポスターを掲示し、振り込め詐欺、悪質商法の未然防止に向け注意喚起を行っております。
- 多重債務者相談キャンペーンや金融庁の「多重債務相談窓口の設置」等の公報活動に努めております。

※その他の取組みについても、次ページ以降に掲載しておりますのでご覧ください。

大信の地域貢献活動&トピックス

制度融資や信用保証付融資を通じた地元中小企業への支援と地域活性化に貢献

大信は地域のお取引先の資金ニーズにお応えするため、都・区・市の中小企業向け制度融資と東京信用保証協会の保証付融資を積極的に取り組んでおります。平成20年9月末現在の都・区・市制度融資残高は44,332百万円で、総融資残高308,308百万円に占める割合は14.4%となっており、また信用保証付融資残高は68,521百万円で総融資残高に占める割合は22.2%に達しております。



(財)あすなる会に対し46年間にわたり賛助活動を継続

大信は、昭和37年に大信創立10周年の記念事業として、「勤労青少年の育成と社会福祉向上」を目的に財団法人あすなる会を設立しました。以来大信は社会・地域貢献活動の重要な柱と位置づけ、(財)あすなる会の活動に対して基金・寄付金などを拠出、会事務所の提供、職員の派遣など、物心両面にわたり46年間支援を継続しております。

(財)あすなる会の活動は、英会話教室、茶道教室等の教養教室の他、ハイキング、祝成人・新年のつどい、あすなる祭等のイベント、さらに賛助会員の方々を対象とした中小企業経営環境研究会、あすなる会と共催の合同時局講演会等多岐にわたり活発に行われております。これらの活動基盤は大信と大信40店舗のお取引先1,000社を超える賛助会員のご協力によって支えられております。詳細は(財)あすなる会ホームページをご覧ください。http://www.asunarokai.org

平成20年6月29日新教室「プリザーブドフラワー作り」



花の加工に挑む



完成した作品にご満悦

平成20年7月26日隅田川花火大会観賞会



あすなる会館屋上にて

平成20年9月7日あすなる祭に集う若ものたち



熱気にあふれる式典会場



お点前を通して若もの交流

平成20年9月20日(社)日勤協主催「若ものを考えるつどい2008」



応募作文で日勤協会長特別賞を受賞した石上愛理さん

経営情報・地域情報を永年にわたり提供

■都内中小企業景況調査結果を 27年間に亘り経営情報として提供

大信は、各店舗のお取引先のご協力を得て昭和56年から27年に亘り毎年5月と11月の2回（通算54回）都内中小企業の景況調査を実施し、その結果を小冊子にまとめ経営参考資料として提供しております。調査対象先は従業員50人未満の企業を中心に、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種867社に達し、大信職員による聞き取り方式で実施しております。調査結果は都内23区と多摩地区に分け地域性を反映する形としております。



■「大信ふれあいニュース フロイデ」を 発行し地域情報として提供

「大信ふれあいニュース フロイデ」は、地域やお客様のご紹介・PRなど身近な情報紙として年2回（7月・11月）発行しており、昭和29年の創刊以来現在175号を数えます。一・二面では大信40店舗の近隣商店街の歴史やイベント、案内図などをシリーズで紹介・PRするコーナー、三・四面は「あなたのご近所から」「ふれあい伝言板」と題するコーナーで、地域の行事や地元の名店のご紹介など地域情報を提供しております。



講演会等の開催により積極的にお取引先との紐帯強化

■「しん研」第13回講演会

「世界遺産アンコール・ワットの謎に再挑戦」が大好評

「だいしん経営研究会（しん研）」は、多摩地域の総合的な発展のため事業経営や異業種企業間の情報交換ならびに社会貢献を目的として、企業経営者を中心に活発に活動を続けております。平成20年6月12日（木）第13回講演会を会員91名参加のもと大信八王子営業部6階ホールにおいて開催いたしました。今回は、アンコール・ワット遺跡研究の第一人者である上智大学学長石澤良昭先生をお招きし、その歴史的な世界遺産を理解する上で大変有意義なご講演をいただきました。参加された会員の方々は熱心に聴講され、講演会は大好評を得て終了いたしました。



ご講演をされる石澤良昭先生

■第29回大信すえひろ観劇会

平 幹二郎 主演「剣客商売」が大好評

平成20年6月11日（水）、第29回大信すえひろ観劇会が明治座を借り切って開催され、1,200名のお客様が平幹二郎主演「剣客商売」と小柳ルミ子の「オンステージ」の舞台を楽しまれました。開演前に安田常務理事から主催者を代表して、日頃のご愛顧に対するお礼のご挨拶と大信業況報告等を行いました。幕間の「おたのしみ抽選会」では100名様に「特別すえひろ賞」が贈呈されて大変喜ばれ、また八王子営業部の取引先伊奈敏江様から平幹二郎さんに花束贈呈が行われました。大信すえひろ観劇会は、年金の受け取りを大信にご指定いただいているお客様の会で、年2～3回定期実施しております。



花束を贈呈する伊奈敏江様

各店舗は地元に着した「心・ふれあい」の地域貢献活動を積極的に展開

戸越支店

振り込め詐欺等の地域の犯罪撲滅を目的に、地元警察の協力を得て、具体的事例に基づく対応策について職員全員で研修を行い発生防止に努めております。



亀戸支店

地元大島2丁目町会の納涼盆踊り大会が、平成20年8月23日(土)～25日(月)に大島防災公園で盛大に行われ、職員全員で参加しました。



石川支店

地元の方に憩いの場としてロビー掲示板を開放し、色々な作品を展示しています。今回はちぎり絵による「和紙絵画展」を開催しました。



八丁堀支店

平成20年日枝神社例大祭が6月13日(金)～15日(日)に行われ、八丁堀二丁目西町会の神輿担ぎ手として男子職員全員が参加しました。



品川支店

毎週朝3回(月・水・金)当店前の道路(旧東海道)と裏通り(元なぎさ通り)他周辺の清掃活動を男性職員が行っております。



蒲田支店

平成20年8月2日(土)、3日(日)に蒲田八幡神社の御祭礼で御神輿・曳太鼓山車巡行が行われ、男性職員が担ぎ手として参加いたしました。



荏原町駅前支店

平成20年6月10日(火)に「ダイヤモンドクラブ誕生日会」(年金受給者の会、会員1,100名)が、83名の参加を得て盛大に開催されました。



吉祥寺支店

平成20年9月14日、恒例の「第36回吉祥寺祭」に地元五日市親交会の一員として、男子職員が神輿の担ぎ手として協力参加しました。



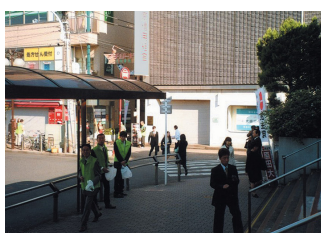
駒沢支店

毎年8月地元駒沢三丁目主催の納涼盆踊り大会が駒沢緑泉公園で盛大に行われ、三軒茶屋支店と駒沢支店の職員が参加しております。



十条支店

北区まちづくり部を中心に、王子警察署・JR十条駅・町会と大信が一体となって年2回十条駅周辺の放置自転車クリーンキャンペーンを実施しております。



日暮里支店

元三島神社祭礼が、平成20年5月10日(土)、11日(日)に行われ、店舗職員全員で町会売店のお手伝い、神輿担ぎに参加しました。



目黒支店

昭和49年から店舗裏の清水稲荷神社境内の清掃を継続して行っています。この活動で平成14年に社団法人日本善行会から表彰されました。



お気軽にご相談ください

「お客様相談室」を設置してお客様からのご相談やご要望などにお応えできるよう態勢整備に努めております

大信は、お取引の店舗窓口でご相談をお受けするほか、本部にお客様とのホットラインの役目を担う「お客様相談室」(フリーダイヤル0120-402-003)を設置してお客様からのご相談やお問い合わせなどに真摯な対応ができる態勢を整え、安心してお取引いただけるようお客様との信頼関係強化に努めております。

「振り込め詐欺」にご注意ください!
怪しいな、と思ったら“振り込む前”にちょっと確認!!